

# SHIN CLUB 268

(株)辰 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F

tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



「A 邸」 撮影：川辺明伸

## 今月のトーク/monthly talk

### 長い時を経て

写真は今月ご紹介する事務所兼用住宅です。リビングルームへの入口には「行雲流水」と名付けられた二つの石が飾られています。窓の外に季節のうつろいを感じる庭の広がるリビングルームには建て主の書斎が併設しています。春には桜の名所として、秋にはイチヨウが美しいことで知られる公園からほど近い閑静な住宅街のなかに 2022 年 4 月竣工しました。

敷地は前面道路に接する間口約 3.5m の旗竿地で、エントランスまで 25m にも及ぶアプローチは、街の喧騒から離れ気持ちを切り替える大切なスイッチの役割を担います。

この建物を設計した吉原組の吉原雅人氏と、庭やアプローチなどをデザインした榎井淳介氏は、それぞれがまだ駆け出しのころ、とある数寄屋造の茶室と庭の担当として同じ現場で出会いました。そのときに交わした、「いつかまた一緒に仕事をしよう」という約束が、長い時を経て叶ったのが今回の計画です。

日本の桜を特に愛する外国籍の建て主は今回の庭園デザインを母国でのイベントや今回の計画プロデューサーである GREFICA 国分誠司氏に相談。そこから日本庭園を得意とする榎井氏に声がかり、先ほどの約束の実現へとつながりました。

コロナ禍で来日がむずかしいこともあり、建て主との打合せもなかなか思うように出来ませんでした。が“日本が好き”で目づ“ホテ

ルのようなインテリア”を、という建て主の要望に添い、あとは信頼関係の上お任せいただいたということです。

桜、ブビンガ、ウォールナットなどのさまざまな樹種をふんだんに使い、どこか柔らかくそれでいて凛とした内装は、海外のテキスタイルや照明器具、左官仕上げなどと合わせた、和でも洋でもない新たなオリエンタルな空気を感じます。写真の扉の右手にあるキッチンの建具枠には日光東照宮の杉が使用され、アールに施されていることで洋風なキッチンとも調和がとれています。

この計画のお話を頂いた当初吉原組から「材料は弊社の支給材でお願いしたいのですが」とお話がありました。工事がはじまり、家具や建具の納まりを細部まで図面でご指示頂いたところからも素材への思いが感じられました。そんな吉原組の皆さまのあたたかいご協力のもと、本工事を担当した現場所長とともに滋賀県野洲市にある材木置き場に伺って参りました。

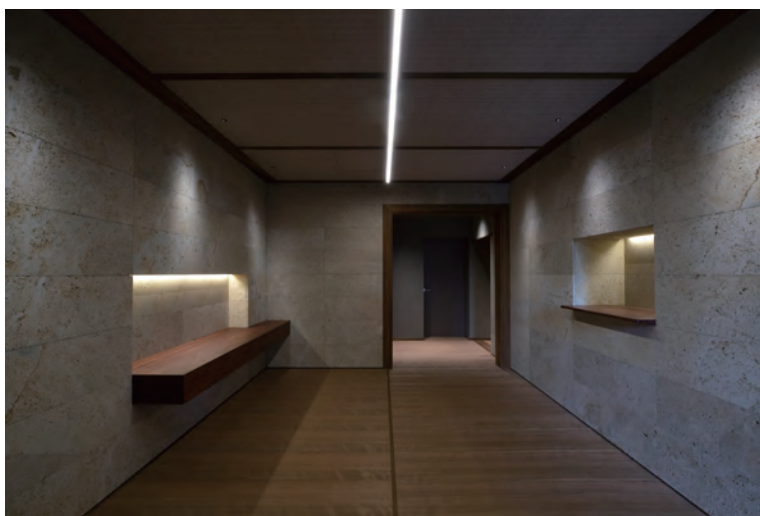
どのような経緯で木や石などの素材にこだわった今の吉原組のスタイルが作り上げられたのでしょうか。

(p2 に建築概要を、p3 に材木置き場、設計事務所でのインタビューの続きを掲載しました)

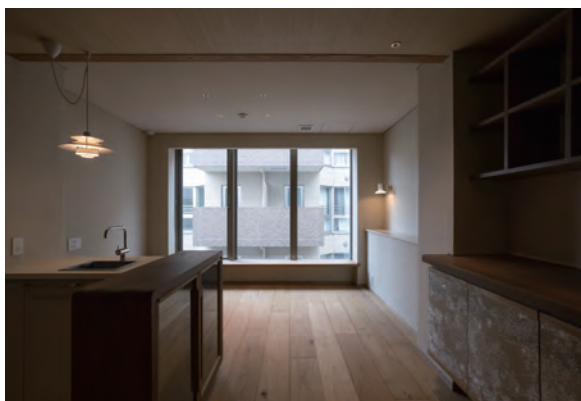
A邸



応接間から庭を見る。季節の移ろいをたのしむ



エントランスホール。静かな時間が流れる



サッシ下端をベンチとして活かした2階ファミリールーム



マスターベッドルーム。ヘッドボードに使用したのはノーザンアップル

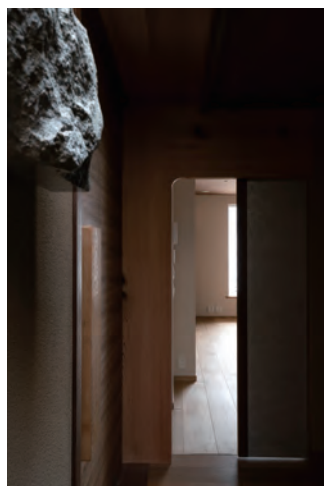
「素材の持ち味をデザインに取り入れる」

海外のクライアントにとって「日本庭園を中心」に客人をもてなすことと、自らも日本で家族とともに安らぐことのできる最高の場所をどう創るかが、私たちに課せられた課題であった。クライアントから提示された土地は間口3.5mの旗竿の土地。庭園を眺めながら過ごしたいという要望を計画の核とし、外構にふんだんの緑と石組。RC躯体をベースに屋上日本庭園とそれを望むゆとりのある応接間を配した。

建築条件にはさまざまな制約があったが、アプローチからエントランスホールまでの動線は非日常へ誘う役割を持たせた。玄関は「風格」と「格式」を意識したなかで壁は小松産の観音下石（かながそいし）を選んだ。黄味がかった凝灰岩はライティングとの馴染みが良く、空間に柔らかさをプラスしてくれる。石壁をベースに床板は幅広のチェリー、飾りカウンターにはブビンガ、天井はチークの竿縁と裏打ちした布を差し目地で構成した。石/木/布と異種の素材を使うことによって非日常的なエントランス空間に仕上がった。

今回クライアントは一定の条件のなかで生活スタイルやデザインを一任してくださった。ただ私たちの役割は、自分たちのデザインを押し通すことだけではなく、職人や素材、現場の方々とともにお題に対し皆で考え、設計者としてそれを美しく調律することが建物のクオリティやクライアントの喜びにつながると考えている。また建築の価値というのは“今が一番”ではなく経年でより良くなることが何よりのクオリティ。未長くお住まいいただき、ますます磨かれていく庭と建築を楽しんでいただけたらと思う。

(吉原組 / 吉原雅人氏 談)



3階キッチンへの入口。アール状の杉板



小松市観音下（かながそ）の石切場。垂直に切り出された岩肌が庄巻だ。最近では黄色味がかった石は採石困難になりつつある



アプローチから玄関扉を見る

所在地：東京都  
 構造：RC造  
 規模：地下1階・地上3階  
 用途：住宅・事務所  
 プロデュース：(株) GREFICA  
 設計・監理：YOSHIHARAGUMI INC.  
 庭：(株) 榎井淳介デザインスタジオ  
 施工担当：堤  
 竣工：2022年4月  
 撮影：川辺明伸

吉原雅人（よしはらまさと）

1972年 大阪生まれ  
 1996年 武蔵野美術大学大学院修了  
 1996年 藤森工務店 入社  
 2003年 三角屋 入社  
 2015年 吉原組 入社  
 YOSHIHARAGUMI INC. 設立  
 2020年～ 京都精華大学 非常勤講師



「縁をつなぎ器をつくる」

株式会社 吉原組一級建築士事務所



京都の吉原組事務所にて。左から吉原氏、草薙氏、岡田氏、所長の堤



プレゼン用模型



事務所に並ぶキューブのサンプル

# YOSHIHARA GUMI INC.

今月は、「A邸」の設計者である株式会社吉原組の吉原雅人氏と担当の草薙彩音氏、岡田成穂氏に現場所長を務めた堤がお話を伺いました。

堤：以前は京都で数寄屋建築などを手がける会社で吉原さんと草薙さんは一緒に働いていらしたのですね。

吉原：主に数寄屋を得意とする工務店で、材料や納まりなどはそこで経験を積みました。徒弟制度がまだ残る会社で親方筆頭に弟子大工と若手設計部が混在する厳しい世界でした。当時設計部の私と草薙とは先輩後輩の関係でもともと親方や大工と対峙しそれぞれ格闘しておりました。2015年に独立し、その後草薙も前社を退職し弊社に入社しました。



フォークリフトについて吉原氏から説明を受ける堤

堤：ご案内いただいた滋賀県にある材料置き場は独立時から使っていたのですか。

吉原：当初は資本もなく置き場を持たずに始めました。現場をこなすうちに各地にある材木屋に預けている購入材がどんどん増えていき、たまたま格安で借りられる滋賀の土地が見つかったので材料置き場がようやく確保できました。



灰色の分厚い材木はP2のエントランスにも使われているピンガ。削ると木肌がよみがえる

材木のストック方法や材の見方、買い方などいろいろと教えて頂きました。今まではB to Bが多い世界でしたが、ここ最近では設計者自ら材木を購入し材木商が直接エンドユーザーに会う機会も増えました。親しみのある材木屋さんが私たちのまわりには多いですね。私たちは材料屋、職人含め、可能な限り完成した建築を最後に観てもらいます。皆さんがサプライしたモノ、作ったモノの最終形を共有することで、それぞれの苦労がやり甲斐に変わり、大げさですが伝統的な業界の復活や職人不足などの一助になるのではないかと思います。

堤：木に合わせてその他の内装を決めていくのでしょうか。

吉原：そうです。材木だけではなく石なども含めた“素材”あります。原点はやはり以前勤めていた会社です。今のトレンドは「木造」ではなく「木質（大断面集成材やCLTなど）」と呼ばれるくくりで、素材価値も大事とされる在来工法で育った私たちの思考とは別物と感じていますが、今後は上手く設計に取り入れたいと考

えています。ただ、木が得意な会社ですが、なかには「木は大キライ」という要望の設計依頼もあり、最近は色々チャレンジさせていただいています。

堤：そうなのですね。今回の計画ではお三方はそれぞれ役割分担されていましたが。

吉原：私の独りよがりのアイデアだけではなく、思い切って“任せる”ことでより豊富で新しいアイデアが生まれます。それをどう編集するかが私の役割ではないかと考えています。

堤：京都の事務所では講演会などのイベントをされているとか。

吉原：弊社が大家で建築関連の3社（吉原組 / 桜設計集団 / 総組）とシェアオフィスとして運用しており、東京にもシェアメンバーが大家の弊社サテライトオフィスがあります。3社で3か月に1度、全国から仲間や友人を集め「衣食住セミナー」なるものを開催し



衣食住セミナー講演会の様子

ています。持ち回りで講演者を選び、講演後こちらを食をテーマにお題を設け、お酒とともに懇親会をしています。

草薙：大テーブルにホットプレートや卓上コンロを置き、皆さん全国からいらっしやるので、特に“京都”や“季節”を感じて頂けるものを用意しています。

堤：楽しそう。どんな方が講演されるのですか。

吉原：アパレル系の方に「デニムの世界戦略」を語っていただいたり、国産にこだわるアウトドアブランドの社長に熱い思いをご披露いただいたり、スポーツ関連、麻酔科ドクターやIT企業家など建築分野とヒモ付かない方々をあえてお呼びしております。コロナで中断していましたが近いうちに再開予定です。



事務所には設計のインスピレーションの源が並ぶ

堤：お忙しいなかご案内いただきありがとうございます。いつかまたお仕事一緒できたらと思っています。

一日はありがとうございました。

株式会社吉原組 YOSHIHARAGUMI INC.

本社

京都府京都市中京区二条通寺町東入ル榎木町 77-1 5F  
TEL : 075-708-3740 FAX : 075-708-3741

代々木サテライト

東京都渋谷区代々木 2-21-10 501

代表取締役

吉原 雅人

創業

1940年

設計部門設立

2015年

WEB

<http://yoshihara-gumi.co.jp/>



TOPICS/INFORMATION

第1回「私の好きな映画を一緒に観て語り合う」夕べ を開催いたしました

— 本社 7階 会議室 —

6月22日、SHINCLUB267号でご案内いたしました、第1回「私の好きな映画を一緒に観て語り合う」夕べを開催いたしました。

記念すべき第1回目の推薦人である弊社前社長 森村相談役が推薦した映画は「男はつらいよ」シリーズの第一作目。プロジェクターで映し出された大きな画面で鑑賞する映画はと

ても迫力あるものでした。

また、鑑賞後には作品にまつわる感想を語り合ったり、談笑したりとお越しくございましたお客様たちととても有意義な時間を過ごすことができました。  
次回は7月20日(水)開催予定。ご興味のおありの方、是非ご参加ください。



映画観賞中。大きなスクリーンで映し出された映像はまさにシアターでした

生コンクリート工場見学・コンクリート打設研修

5月19日、この日入社1・2年目の社員を対象に世田谷区にある生コンクリート工場、高橋建材株式会社へ工場見学をおこないました。

昨年は新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり中止を余儀なくされましたが、今年は感染対策をしっかりとこなした上で、建築現場で使用される生コンクリートがどのような製造過程を経て現場へ搬入されるか、その特性や配合比率など建築現場だけでは学ぶことができない多くの部分を学びました。



コンクリート工場所員の方による座学。生産者目線でのコンクリートに対する考えなどを教わりました



打設後型枠を叩くことで空気を抜く

また、工場で見学した生コンクリートが建築現場でどのように打設されているのか、実際の新築工事の現場でコンクリート打設研修をおこないました。  
打設されたコンクリートは、型枠を外から叩いたり、バイブレーターと言われる振動機でコンクリートを密実に充填、締め固めをおこなうことでしっかりとした美しいコンクリートに仕上がります。  
建築部長の指導のもと、その作業を体験し、本配属への意欲も高まります。



隙間まで丁寧に振動をかけていく

第1回 ZEN・関東建設協力会 総会 がおこなわれました

この度、ZENグループ各社のうち、関東に拠点を置いている株式会社麦島建設(東京支店)、池田建設株式会社、株式会社辰の3社と各社の協力業者様とともにZEN・関東建設協力会が結成され、その第1回目の総会が渋谷 フォーラムエイトで執り行われました。

ZEN・関東建設協力会は、この厳しい時代を切り抜けるため、会員各社が英知を絞り、「より良いもの」を「より早く」「お値打ちに」お客様に提供することを目的とした、関東に拠点を置くZENグループの建設協力会です。

式には、各社で活躍する業者様およそ158社が出席。株式会社辰 森村相談役による開会の辞からはじまり、株式会社楠工務店 代表取締役 楠氏による会長挨拶、麦島オーナー挨拶、各社代表取締役による挨拶がおこなわれ、各理事紹介、各事務局報告、次年度活動計画、分科会メンバー紹介を経て、閉会の辞となりました。



挨拶を述べる協会の会長楠工務店 代表取締役楠氏

会社の垣根を超えて、同じく建設業界で切磋琢磨している3社だからこそできることがあります。  
新型コロナウイルスによる世界的影響やインフレーションなどによる価格上昇で大きな影響を受けている建設業界。厳しいなかでも皆さまに喜んでいただけるモノを



弊社森村相談役による開会の辞



多くの業者様が参加しての本会

創り続けられる会社であり続けるため、私たちは一丸となって歩み続けてまいります。

3社一丸となって、これからの建設業界を盛り上げてまいります



「(仮称) 神宮前3丁目プロジェクト」新築工事 地鎮祭  
2022年5月14日



下の道路から上の道路までパッサージュで結ばれた空間で構成された29戸の集合住宅が来年11月に完成いたします。

構造/規模: RC造/地下2階・地上3階  
用途: 集合住宅  
設計: 有限会社 awn  
施工担当: 池上・伊藤  
完成予定: 2023年11月

「(仮称) 江原町3丁目プロジェクト」新築工事 上棟式  
2022年6月4日



無事故無災害で上棟することができました。これから暑くなりますので、熱中症にも注意し、安全第一で完成に向けて励んでいきます。

構造/規模: RC造/地上3階  
用途: 専用住宅  
設計・監理: (株)タカギプランニングオフィス  
施工担当: 朴  
完成予定: 2022年8月

編集後記

・猛暑日が続いています。無理はせず、「3とる:人との距離をとる・マスクをとる・水分をとる」を意識し、のどが渇いていなくても、定期的な水分補給を心掛けて、猛暑の夏を乗り越えたいですね。

(株)辰 通信 Vol.268 発行日 2022年7月10日  
編集人: 本間夏来/村上由衣 発行人: 岩本健寿  
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-8-10 JS 渋谷ビル5F TEL:03-3486-1570  
FAX:03-3486-1450 E-mail: daihyo@esna.co.jp URL:http://www.esna.co.jp



「SHIN CLUB」はWEB上でもご覧いただけます。  
バックナンバーもPDFで掲載しています。  
スマホはこちらから →

